

広報やちよ女性版

公募して選ばれた編集委員が
企画・構成・編集するページです
編集委員 関口 理子・高松紀美子
夏戸 夕起

No.120

本日オープン! 中央図書館・市民ギャラリー



7月1日、中央図書館・市民ギャラリーがオープンします。施設のデザインのコンセプトは、「新川の水面に立つ波紋やさざなみから広がる空間」。ゆったりと快適に過ごせる仕掛けが盛りだくさんです。今回の女性版では、一足早く施設を訪問した私たちが、各コーナーや利用方法をご紹介します。

ライブスペース



エントランスを入ってすぐ右手には、ポニー(?)がお出迎え。カフェ風のミニ黒板で当日開催されるイベントを紹介します。

フリースペース

飲み物や軽食販売もあります。みんなで食事やおしゃべりも楽しめますよ! 持ち込みもできます。



雑誌エリア



ラックには、京都の草木染め職人「染司よしおか」が手掛けた季節をあらわす二十四節気の色分けされた植物染めの絹を展示。洋風建築に和を取り入れ、ほっとする空間を演出。雑誌に代わり、利用者の目を楽しませてくれます。

児童図書エリア

児童図書エリアでは赤ちゃん恐竜がお出迎え。親子連れでも楽しめる仕掛けがいっぱいです。くぐったり、潜ったり、本の森に迷い込んだようなわくわく感が味わえます。授乳室もあり、お母さんも安心ですね。



こどもテラス・おはなしのへや



南に面したこどもテラス(左)は開放的な雰囲気。白い壁にポップでカラフルな椅子が映えます。おはなしのへや(下)では、図書館やボランティアによるおはなし会などが開かれるそうですよ。



こんな場所にも潜入しました
～番外編～

市民ギャラリー収蔵庫

展示室の裏側には、約600点もの美術品が保管されています。展示室に飾られるのが楽しみです。



子ども用トイレ

子ども専用トイレの他、女子トイレにも男子用トイレを併設。こんなに小さいんですよ! かわいいですね。



集密書庫

古い本や、借りられる頻度の低い本などが多く収納されています。



一般図書エリア・閲覧席

図書館には最大46万冊収蔵できます。オープン時には約14万冊を開架書架に配置。閲覧席数は約350席です。「川」と「森」と名付けられた緩やかなウェーブを描く読書席は、隣の視線が気にならないデザインで、新川と緑豊かな景色も満喫できます。全国のタウンページを揃えたコーナーには驚きました。



市民ギャラリー

常設展示室では、国際的な版画家・星襄一氏の作品など、市の収蔵美術品を展示。23日(休)までは、市民ギャラリー全体で、「八千代市収蔵美術品展」を開催。第1～第4展示室は、私たちが借りられます。ワークショップなども行われるそうですよ。



どこにあるか
探してみよう!

